一年学年だより

Ｎｏ．６	９月号
令和８年９月４日	
１０４ＨＲ	

作業で止めず、意味をもたせよう

２学期が本格的に始まりましたね。勉強と行事と慌ただしい時期ではありますが、体調を崩さず頑張って行きましょう。ところで、夏休みの課題は終わりましたか？　ただ書いただけ（作業しただけ）になっていませんか？　夏休みの課題には、これまでの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことが復習につながります。取り組みが甘かったと感じる人は、復習するべきです。

次のようなアンケート結果を見つけたので、みなさんに紹介します。

計画や目標を決めて学習していますか？

	成績◎（GTZ:S1～S3）（難関大合格レベル）	成績△（GTZ:D1～D3）（基礎・基本養成レベル）
とてもあてはまる	20.1%	7.5%
ややあてはまる	34.2%	25.5%
どちらともいえない	17.6%	29.5%
あまりあてはまらない	17.5%	21.7%
あてはまらない	10.4%	15.0%

（近年のスタディーサポート１年生第２回全国集計結果より。成績◎、成績▲の生徒の平均回答率）

成績◎の 54.3%（半数以上）の人が、計画や目標を決めて学習をしています。宿題をするときに最初から解答を開いて取り組む、授業中に先生が言った部分をただ書き写すのでは、自分自身にとって意味がありません。学習内容を確実に理解するためにも、point 少し頑張れば達成できそうな目標を立てて、point 現実的な計画を立てるようにしましょう。そして実践&改善！　予定通りに進まなかった場合に、計画の遅れを取り戻すための時間を備えとして用意しておくと安心ですね。

勉強面以外でも、先生方や保護者の方など多くの大人から「あれをやりなさい」「これをやりなさい」と多かれ少なかれ言われますよね。それに対して、反発してやらないのは論外ですが、ただこなすだけ（作業）も勿体ないです。どうして自分に対してそのように言ってくれたのか意味や理由を考察し、自分なりの答えをもってほしいですし、次は言われなくてもできるぐらいに成長してほしいと思います。みなさんの成長を願っていないなら、周囲の人は何も言いませんし、言ってくれませんから。みなさんがどのような大人になるか今から楽しみです。

（１０４ＨＲ担任）

★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★

作品制作をカンニング！？

「美術」を担当しています。美術は定期試験がありません。他の芸術科目もそうですが、定期試験がないからこそ、普段の授業中の活動が大事になってきます。(制作後の片付けも大事です)

授業では、２年間で平面作品（デッサン、デザイン、油彩画）や立体作品（粘土制作、木材工芸）の制作を予定しています。芸術の３分野の中で比較的「美術」が好きな人が選択していると考えていますが、先ほど挙げた平面作品や立体作品の中でも、得意で興味を持って取り組める分野とそうではない分野があるかと思います。その時には他の人のよいところを見つけながら制作をしてください。よいところをカンニングするのです。もちろん他の教科では、考査中に他人の答案を見ることなどあってはならないことです。終了した定期試験でお互いの答案を見比べることもあまりないでしょう。

しかし、美術の授業ではできることがあります。例えば、制作の途中で中間発表をするときがあります。発表時は他の人の作品鑑賞ができます。そこで、自分にはない表現や技法があれば、参考にしてください。中間発表の時でなくても、休み時間とかにチラ見することができます。参考にすることで、みなさんがよりよい作品、その時の最高の作品を制作できることを願っています。

（１０４ＨＲ副担任）